

# 市民文化ホールの建設工事が始まります



問い合わせ先 新庁舎・文化ホール整備課 28-6022

## 市民文化ホール平面図



### ■建物のイメージ

- 紙のまち四国中央市ならではのデザインとして、紙の要素を随所に散りばめた計画としています。
- 300年の歴史がある古井池の記憶を継承するとともに、本市の発展（製紙業）には欠かせない水を確保するための先人たちの思いを含め、施設の各所に市民が水と触れ合う親水空間を配しています。

### ■大ホール

- 大ホールは、1,007席（1階658席、2階349席）の客席を設け、壁・天井は、折り紙を折った際の折り目の連続によるクラフト細工のような陰影を特徴とした空間構成とし、本市の財産である「紙」を連想させます。
- 舞台には音響反射板を備え、市民の発表会や講演会、学校行事をはじめ、クラシックコンサートや声楽、ミュージカル、演劇、舞踏といった各種公演まで幅広い利用が可能な多目的ホールです。



大ホール（客席から舞台）



大ホール（舞台から客席）

### ■小ホール

- 小ホールは140席の格納式可動席を備え、スタッキングチェア72席と合わせ最大212席の客席を設置することができます。
- 客席部前部を昇降式の迫り床とすることで、可動席を収納した際には全て平土間にできるなど、演劇、音楽会、講演会、展示会など多目的に利用できます。
- 平土間とした際には、大ホールの舞台部分と同程度の面積となり、リハーサル及び練習室としても利用できます。

### ■エントランスホール・ホワイエ

- ホワイエや1階ロビーが見渡せる明るく開放的な空間としています。



小ホール



エントランスホール・ホワイエ

本市では、老朽化が著しい市民会館川之江会館と既に閉館した三島会館の両館の機能を集約することで、運営経費の効率化を図るとともに、市民が親しみやすい交流の場として、また、文化・芸能・芸術意識の向上を目指して、市民文化ホールの整備を進めています。

市民文化ホール建設基本計画に基づき平成27年3月から進めてきた基本・実施設計が平成28年5月に完了し、8月に条件付一般競争入札を実施しました。

9月市議会定例会において、市民文化ホール新築工事請負契約の締結議案が可決され、10月から建設工事に着手しますので概要をお知らせします。なお、工事の進み具合は、市ホームページなどでお知らせします。

### 工事概要

- 工事名 四国中央市市民文化ホール新築工事
- 落札者 株式会社熊谷組 四国支店
- 契約金額 48億168万円（税込）
- 建設地 妻鳥町字古井池1830-1～9
- 敷地面積 21,565.81㎡
- 建築面積 4,325.15㎡
- 延べ面積 6,044.38㎡
- 構造 鉄筋コンクリート一部鉄骨造、鉄筋鉄骨コンクリート造
- 階数 地上3階
- 駐車場 379台
- 駐輪場 20台（常設）
- 工期 平成31年5月31日まで
- 開館時期 建物完成後、習熟期間を経て開館となります。



### 配置計画

- 敷地への侵入路は南側と西側の2か所とし搬入導線は西側の1か所としました。
- 現況敷地の高低差を利用し、建物を池底レベルに建設することで、造成工事の縮減を図りました。
- 敷地の西側に建物を配置し、北側をメインに駐車場を整備します。
- 敷地南側に「緑の広場」を設け、市民が憩える場とします。
- 池周囲の堤を散策道として整備し、池の名残を残します。

